

令和7年4月1日

学校法人 立志舎
専門学校日本鉄道&スポーツビジネスカレッジ21

令和7年度学校情報提供

専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン並びに学校法人立志舎情報公開規程に基づき、本校における教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供いたします。

1. 学校の概要、目標及び計画

(1) 目的・特色

本学は、教育基本法の精神に則り、学校教育法に従い、人格の陶冶とビジネス、マルチメディア、スポーツ、ホテル、医療・福祉、デザインおよび一般教養に関する正しい知識を身につけ日本経済の発展に貢献できる人材の育成を目的とする。これを実現するためにカリキュラムの編成や新学科の検討などを行っている。理念・目的・育成人材像は、教職員・学生にも周知徹底しており、学外にも広く公表している。

特色としては開学時以来「ゼミ学習」という本学独自の教育システムを導入しており、明るく楽しい学園生活と、高い資格取得実績および高い民間企業就職実績を達成している。

(2) 概要

学園名称	学校法人 立志舎
理事長	塚原 一功
学校名称	専門学校日本鉄道&スポーツビジネスカレッジ21
校長	吉野 充利
所在地	〒130-8565 東京都墨田区太平 2-3-2
連絡先	TEL 03-3624-6083

(3) 学校の沿革

平成9年10月1日	学校設置認可
平成10年4月1日	専門学校日本スクールオブビジネス21として開校
平成26年3月31日	文部科学大臣より全ての2年制学科が職業実践専門課程に認定
令和元年9月20日	高等教育の修学支援新制度の対象校として東京都知事より確認
令和2年4月1日	専門学校日本鉄道&スポーツビジネスカレッジ21へ校名変更

(4) その他の諸活動に関する計画

自衛消防隊の組織
危機管理マニュアルの整備

2. 各学科の教育

(1) 入学者に関する受入れ方針及び入学定員及び総定員

・受入れ方針

入学選考は東京都専修学校各種学校連合会の規定に沿って作成した募集要項により適正に選考を行っている。提出された入学願書の志望理由を中心に調査書・成績証明書も参考にして本学教育内容の理解度や今後の熱意を把握し可否の判定をしている。

入学選考のうちAO入学に関しては本学のアドミッションポリシーを基準として面談を行っている。本学の理解度、今後のやる気を中心に可否の判定を行っている。留学生に関しては専門の教職員を置き留学生全員に筆記試験・面接試験を行い日本語能力、経費支弁能力、日本語学校の出欠席などをもとに入学選考を適正かつ公平に行っている。

・定員

課程名	学科名	修業年限	入学定員	総定員
ビジネス専門課程	鉄道・観光学科	2年	90名	180名
	鉄道・トラベル学科			
文化教養専門課程	スポーツ学科	2年	60名	120名
		合計	150名	300名

(2) 授業計画表（シラバス）

入学年度	学科
2024	鉄道・トラベル学科
	スポーツ学科
2025	鉄道・観光学科
	スポーツ学科

(3) 進級・卒業の要件等

【成績評価基準】

- ・単位は、前期試験受験者・後期試験受験者に対して考査の上、与えられる。ただし、前期試験・後期試験は、科目ごとに出席時数が授業時数の3分の2に達しない者は受けることができない。
- ・科目ごとに出席時数が授業時数の3分の2に達しない者は、補講への出席・課題の提出を行った上で追試験を受けることができる。ただし、補講は出席時数が授業時数の2分の1に達した者に実施する。
- ・前期試験・後期試験において著しく点数が低い者は、再試験を受けることができる。
- ・成績は、秀・優・良・可・不可に分け、秀・優・良・可を合格とし、不可を不合格とする。成績評価は、期末試験・授業期間中に実施するテスト・実習の成果・履修状況等を総合して判断する。
- ・合格者の成績評価割合は、成績最上位の10%程度を秀、30%程度を優、50%程度を良、10%程度を可とする。
- ・合格した授業科目については、所定の単位を取得したものとする。

【GPAの算定】

- ・学期末に秀・優・良・可・不可の評価を行う。
- ・上記の評価に基づき GPA を算定する。

(算定方法)

- ①1 単位当たり秀：4.0、優：3.0、良：2.0、可：1.0、不可：0 とする。
- ②秀 (4.0×取得単位数) + 優 (3.0×取得単位数) + 良 (2.0×取得単位数) + 可 (1.0×取得単位数)
=GPA 換算数
- ③GPA 換算数÷総履修単位数 (不可の履修単位数を含む)
=個人の GPA (小数点 3 位以下を四捨五入)

(実施時期)

前期 (4 月から 9 月)、後期 (10 月から 3 月) の 2 回実施し、3 月末に年間 GPA を学務システム上で算定する。

【卒業・進級の認定基準】

(進級基準)

2 年制学科：1 年から 2 年へ進級時 46 単位

ただし、下記の学科・コースにおいては、進級基準を次のとおりとする。

スポーツ学科

競技スポーツコース	39単位
パーソナルトレーナーコース	40単位
フィットネストレーナーコース	40単位
アスリート公務員コース	39単位

(卒業単位)

2 年制学科：86 単位

ただし、下記の学科・コースにおいては、卒業単位を次のとおりとする。

スポーツ学科

競技スポーツコース	76単位
パーソナルトレーナーコース	80単位
フィットネストレーナーコース	80単位
アスリート公務員コース	80 単位

なお、教育課程に定められた必修科目については全て取得することを要する。

卒業判定会議を卒業年次の 2 月末に実施する。

以下の学科を修了した者には専門士の称号を付与する。

専門課程名	学科名	称号名
ビジネス専門課程	鉄道・観光学科 鉄道・トラベル学科	専門士 (ビジネス専門課程)
文化教養専門課程	スポーツ学科	専門士 (文化教養専門課程)

(4) 取得資格、検定試験合格等の2024年度学園実績

資格・検定名	合格者数
国内旅行業務取扱管理者	22名
旅行地理検定	35名
サービス接客検定	37名
NSCA 体力トレーニング検定	17名
NSCA パーソナルトレーナー	12名
健康運動実践指導者	9名
ビジネス能力検定ジョブパス	16名

(5) 卒業後の進路

・主な就職先

鉄道・観光学科：

JR 東海、JR 東日本グループ、東京メトロ、小田急電鉄、京王電鉄、京成電鉄、メトロコマース、西武鉄道、東武グループ、関東鉄道、新幹線メンテナンス東海、近畿日本鉄道、IR いしかわ鉄道、北陸鉄道、日本電設、ANA エアポートサービス、西武プリンスホテルなど

スポーツ学科：

アディダスジャパン、総合体育研究所、東急レクリエーション、ファストフィットネスジャパン、ライザップ、野村不動産ライフ&スポーツ、リラックス、G7 ホールディングス、ABC マート、クラシオンなど

3. 教職員

(1) 教職員数

教員数		職員数
本務者（休職者を含む）	兼務者	本務者のみ
11名	6名	8名

(2) 教員の専門性

・教員に対する研修等の基本方針

【鉄道・観光学科、鉄道・トラベル学科】

教員研修規程に従い、訪日外国人観光客の回復に伴い、業界が求められる人材の育成は急務であり、同時に資質の向上が求められている。これに対応すべく、本学教員も業界で求められる実践的な知識、技術および技能を修得することが必要であるとする。業界団体や関係企業と連携して、企業等の実施する研修等に定期的、積極的に参加することにより、教員の能力、資質および授業ならびに学生に対する指導力の修得・向上を目的とする。

【スポーツ学科】

スポーツ業界においては常に新しいトレーニング方法やトレーニングギアが開発されており、スポーツ用品の販売においても新製品が速いスピードで市場に出回るため、スポーツ学科の教員においても最新の知識を身につける必要があり、そのためには、各企業、団体等の講習会等に教員が定期的に参加する必要があると考える。したがって、教員研修規定に従い、授業や学生に対する指導上の知識等の修得および授業や学生に対する指導力等の修得・向上のための研修等を定期的に行っていく。

・研修等の実績

「観光教育の意義とその活用方法について」(日本大学国際関係学部 宍戸 学 教授)

「観光教育における産学連携の取組事例について」(四国大学 経営情報学部 鈴鹿 剛 准教授)

「ハラスメント防止研修について」(連携企業：弁護士 林洸太郎)

4. キャリア教育・実践的職業教育

(1) キャリア教育への取組状況

専門知識や技術以外にもビジネスマナー、コミュニケーション能力などを育成するキャリア教育を実践するため、該当する授業科目を設置し、また企業の人事担当者による学内就職セミナー等も実施している。

(2) 実習・実技等の取組状況

カリキュラムは、年2回開催する教育課程編成委員会での外部委員の意見を参考に、カリキュラム作成委員会において社会のニーズに対応するために必要な科目を体系的に編成している。

平成26年度より文部科学大臣が認定する職業実践専門課程制度が発足し、本学2年制学科はすべて職業実践専門課程の認定を受け、官公庁、企業等と連携した実践的な演習を各学科で行っている。

・具体的な連携の例

科目名	科目概要	連携企業等
旅行業務実習Ⅰ	旅行会社の各種業務や添乗実習を通じて、知識、技術、技能を身につける。また観光協会などのインフォメーションや商品販売を通じて、接客応対技術を身につける。	株式会社はとバス
ホテル実習Ⅰ	ホテルでの実習を通じて、ホテルに必要な知識、技術、接客サービス方法を身につける。	リゾートトラスト株式会社 ホテルグリーンプラザ 軽井沢
福祉介護演習Ⅰ	協会の講師を招き、接客サービスにおいて必要な体の不自由な方やお年寄りに対する介助方法を身につける。	公益財団法人 日本ケアフィット共育機構
企業連携演習Ⅰ	セカンドフィットネススタジオに所属する加圧トレーナーの指導のもと加圧トレーニングの理論を学ぶとともに実習を行う。通常のレジスタンストレーニングとの効果の	セカンドフィットネススタジオ

	違いを体感する。	
企業連携演習Ⅱ	日本ストレッチング協会講師のもと「機能活性プログラム」の理論を学ぶとともに実習を行い、ストレッチやトレーニングとは異なる人間が持っている能力を活性化させる手技を学ぶ。	特定非営利法人 日本ストレッチング協会

(3) 就職支援等への取組状況

・新入生就職セミナー

資格と仕事との関係や、企業研究のポイント、公務員試験の仕組みなどを理解するセミナーを入学直後に開催。

・自己理解セミナー

就職活動前に、自分と向き合うセミナー。キャリアコンサルタントの講師をお招きして、ライフラインチャートの作成、グループワーク、大事にしたい価値観、強みと弱みからジョブカードの作成まで行う。

・個人指導

担任と業界・企業知識が豊富な就職部スタッフが連携して、一人ひとり個性に合わせたアドバイスを行う。

・進路決定のためのガイダンス（学生・保護者）

11月に、その年の就職と公務員試験の動向を理解するために、保護者の方を交えたガイダンスを開催。

・学内就職セミナー

毎年変化する就職・公務員試験の最新動向を知るためのガイダンス。全国に広がるグループ力を活かした関東圏での就職アドバイスなども行っている。

・官公庁説明会

毎年変化する就職・公務員試験の最新動向を知るためのガイダンス。

5. 様々な教育活動・教育環境

(1) 学校行事への取組状況

4月…入学式、オリエンテーション

5月…球技大会

9月…沖縄スポーツ研修（スポーツ学科）

10月…総合体育祭

11月…学園祭

12月…国内添乗実習（鉄道・観光学科）

2月…卒業旅行（希望者）

3月…卒業式・卒業祝賀会

(2) 課外活動

・クラブ活動

野球部、サッカー部、バスケットボール部、バレーボール部、応援団、チアリーディング部、ブラスバンド部、テニス部、漫画・イラスト部、ダンス部、フィジーク部、鉄道研究部など

・ボランティア活動

学生のボランティア活動を奨励、支援し、その活動状況を把握して評価している。学生は近隣の道路清掃などを行っている。

6. 学生の生活支援

学生は、いろいろな悩みを持っており、それらの相談はまずクラス担任にするが、担任に話せない事柄もあり、その時は、学生相談室が設けられているので、学生は相談室の担当者に相談している。

学生に対して適切な指導、相談を行うためにも、出席状況、成績表、学生相談室、就職相談室のお知らせ等を年に4回保証人に送付している。また、必要に応じて保証人と面談をし、学生の指導に役立っている。

一人も退学者を出さず入学学生全員を卒業させることが最終目標である。そのために担任をはじめ各学科の教員が学生全員に目を配り、声をかけて退学率の低減に努めている。

無断欠席者には担任が電話連絡して欠席が長期にならないようにしている。担任以外にも相談できるように学生相談室を設置している。匿名でも、電話でも相談できるようにしている。

7. 学生納付金・修学支援

(1) 学生納付金

【鉄道・観光学科、鉄道・トラベル学科/スポーツ学科】

1 年 次	前期納入額 (入学手続時)	入学金	前期授業料	演習費	維持費	合 計
			200,000	370,000	80,000	80,000
2 年 次	後期納入額	8月20日まで	後期授業料	演習費	維持費	合 計
			370,000	80,000	80,000	530,000
	前期納入額	3月5日まで	前期授業料	演習費	維持費	合 計
			370,000	80,000	80,000	530,000
後期納入額	8月20日まで	後期授業料	演習費	維持費	合 計	
		370,000	80,000	80,000	530,000	

※上記以外にかかる費用：

(共通)

出願時選考料（一般入学 20,000 円、推薦入学 15,000 円、自己推薦 15,000 円）

健康診断料（2,500 円/年）、学生・生徒災害傷害保険（1,860 円/1年次）

(鉄道・観光学科) ※コースによって受験する検定が異なるため

補助教材費（15,000 円～20,000 円/1年生）（8,000 円～10,000 円/2年生）

検定料（14,000 円～18,000 円/1年生）（16,000 円～20,000 円/2年生）

(スポーツ学科) ※コースによって受験する検定が異なるため

補助教材費（7,000 円～10,000 円／1 年生）（3,000～5,000 円／2 年生）

検定料（7,000 円～70,000 円／1 年生）（30,000 円～40,000 円／2 年生）

（2）活用できる経済的支援措置

- ・学費支援制度 特別奨学生試験 ⇒ [特別奨学生試験](#)
- ・学費支援制度 スポーツ特待生 ⇒ [スポーツ特待生制度](#)
- ・学費支援制度 資格や経歴による特待生 ⇒ [資格や経歴による特待生制度](#)
- ・高等教育の修学支援新制度（給付型奨学金、授業料・入学金減免） ⇒ [高等教育無償化](#)
- ・日本学生支援機構の奨学生制度（貸与型奨学金） ⇒ [日本学生支援機構の奨学生制度](#)
- ・国の教育ローン ⇒ [進学ローン](#)
- ・提携教育ローン ⇒ [提携教育ローン](#)

8. 学校の財務

[財務情報](#)

9. 学校評価

[自己評価報告書](#)

[学校関係者評価報告書](#)

10. 国際連携の状況

- ・留学生の受入れ

（募集学科）

学科名	修業年限	募集
鉄道・観光学科、鉄道・トラベル学科	2 年	○
スポーツ学科	2 年	○

（出願資格）

1. すでに日本語学校などに在学し、留学の在留資格を有する者。
2. 外国において通常の課程による 12 年の学校教育を修了した者で、次のいずれかに該当する者であること。
 - ①日本語能力試験（JLPT）N2 以上に合格した者。
 - ②日本留学試験（EJU）の日本語科目 200 点以上を取得した者。
 - ③日本国内の日本語教育施設で 6 か月以上の日本語教育を受けた者。
 - ④日本の学校教育法第 1 条に規定する学校（幼稚園を除く）において 1 年以上の教育を受けた者。
 - ⑤BJT ビジネス日本語能力テスト 400 点以上の者。
 - ⑥日本語能力試験（JPT）525 点以上の者。
 - ⑦実用日本語検定（J-TEST）600 点以上の者。

(入学選考方法)

- (1) 書類選考
- (2) 日本語筆記試験 (30 分)
- (3) 作文試験 (30 分)
- (4) 面接試験 (30 分)

(留学生学費支援制度)

資格・出席による奨学生制度

出席率による奨学生制度

留学生特別奨学生試験

1 1. その他

[学則](#)

以上